

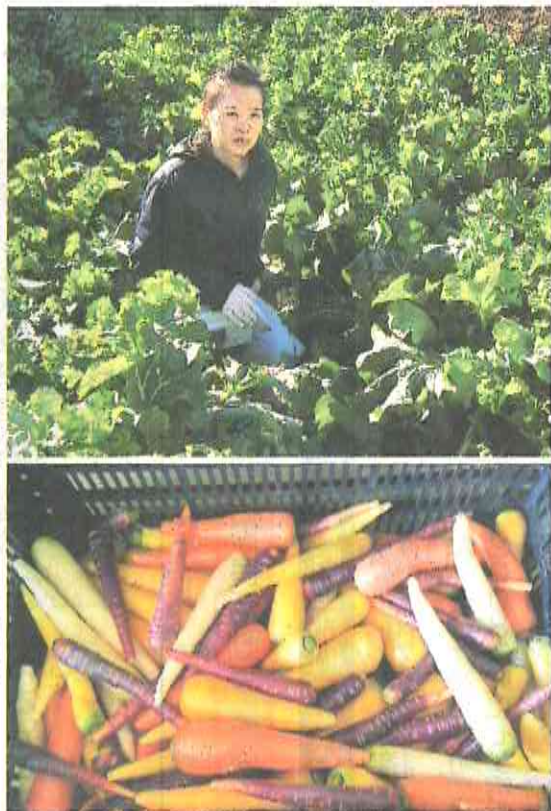
「ちょっと変わった野菜」

独自色、根気よく挑戦

消費者の喜びにやりがい

宮代町
金子智美さん

【埼玉】宮代町の金子智美さん（38）は、黄色や紫のニンジン、寒締めホウレンソウなどの「ちょっと変わった野菜」をはじめ、20品目ほどを40アールで栽培。就農当初から



①野菜畑で金子さん、②色とりどりのニンジンとホウレンソウを栽培

ような形で柔らかく甘いキヤベツ、ツルムラサキ、茎ブロッコリーなど30種類以上の野菜作りに挑戦してきた。

チャレンジ精神旺盛で新しいことに取り組み金子さん。常に新しい作物を探しており、種苗会社に行った際は種の売り場に立ち寄り、今の自分に合った面白そうな作物がないかチェックする。種子袋には難易度の表記もあり、難しそうな作物に挑んでうまくいくこともある。実際に栽培して初めて分かるので「農業は本当に面白い」と話す。

周りの人に支えられてここまで続けられたという。見慣れない野菜でも、お客さんに手に取ってもらえるまで根気強く作ってきたと振り返る。徐々に気になってもらえた野菜を今では楽しみに

待つお客さんがいて、そこで「続けることの大切さを知った」という。

失敗することも多いが、うまくできたものがお客さんに届き、喜んでもらえるのがやりがいと

いう金子さん。スーパーの店頭には金子さんの顔写真があり、「顔を覚えてもらうことがリピーターにつながるっているのかな」と笑う。近所で声をかけられることも多く、

地元で愛された存在だ。「今後は気候に負けない安定した経営にしたい。何年か挑戦しているパブリックにも力を入れた」と金子さんの挑戦はこれからも続く。